ぱんだ組保護者様

平成３１年１月３１日

ぱんだぐみだより No.10

ぱんだ組　４歳児　　鈴木・近藤

寒さが厳しさを増し、園庭や屋上は雪で真っ白に染まりましたが、子どもたちは寒さに負けず元気いっぱいコマ回しや雪遊びをして楽しんでいます。

園庭に雪が積もると「早くお外行こうよ！」と雪遊びが待ち遠しい子ども達。雪遊び道具に着替えて園庭に向かうと、雪合戦をしたりソリをしたりと各々が遊びを見つけて楽しんでいます。また、月刊絵本に〝寒くなると湖の表面の水は凍るよ〟と書いてあり、本当に表面だけ凍るのか実験してみようということになりました。そこで、園庭で一番寒いところはどこなのかをみんなで探し、水たまりが凍っていた、きりん組の窓の下に置いて実験してみることにしました。

プリンやゼリー・玉子豆腐の容器に水を入れ、数日後に様子を見てみると、絵本に書いてあったとおり表面部分だけが氷に・・・。「本当だ～！上だけ凍ってる！！」と実験大成功や新しい発見に大喜びの子ども達でした。これからも、子ども達の発見を大切にしていきたいと思います。

布団敷き

きりん組さんに布団敷きの約束事や敷き方を教えてもらい、今月からぱんだ組が布団敷きを行っています。最近は、慣れてきたようで布団敷きにかかる時間が短くなってきました。りす組さんが布団に入りやすいように掛け布団を少しめくってあげる様子や早起きをして小さい子の布団を畳んだり運んだりしてあげる様子などから、以前よりも小さい子に対する思いやりが増していて、とても嬉しく思います。

一日入園に向けて

２月８日（金）は一日入園です。今まで、司会をするきりん組に憧れを持っていたぱんだ組が、初めて司会に挑戦します。ペアのお友達と息をそろえてセリフを言う難しさや楽しさを感じながらも、みんなが一生懸命取り組んでおり、給食後には子ども達同士で役を決めて一日入園ごっこをする姿も・・・。また、プレゼントもぱんだ組が担当し、折り紙でハートを折ってペンダントにしました。ハートの折り紙に顔を描くと「新しいお友達が喜ぶように、にっこりのお顔にしたよ！」と今からとても楽しみにしているようです。